

新 刊

□北川尚史 (著)・伊藤ふくお (写真): 奈良公園の植物 215 pp. 2004. ¥1,800 (送料別). トンボ出版.

コケを専攻した著者は、定年後の仕事として種子植物にも観察の手をひろげ、同好会誌に独特の観察結果を発表している。本書は現役時代から慣れ親しんだ奈良公園の植物案内である。

先頭4頁は公園の案内図で、写真解説に出てくる168種類の植物の位置が示されている。本書の半分は伊藤氏の手になるカラー写真で、それぞれの植物の見頃の姿や花が示され、簡単な解説が付けられている。ほとんどすべてが樹木であるが、シバやワラビのような草も少数ある。これはこの公園特有の、シカとの関係を説明する材料である。後半は文章によ

る植物解説であるが、いきなりマメ科から始まる。網羅的ではなく、樹木を主とする大きな科を取りあげ、園内に生えている個体について個性的な説明が与えられており、地図と写真を併用しながら知識を深められる。最後はシカによる公園の特異な生態系についての説明がある。

入手については出版社へ著者の名前と共に申し込めば二割引になる代わりに送料が加算されるので、書店で買うのと同じくらいだそう。公園の売店に置けば、よい土産になるだろう。以前、横浜植物会による「ヨコハマ植物散歩」を紹介したが、自然観察ブームの時代にマッチした本だと思う。ネムノキの果実が裂開せずに、莢ごと風に飛ばされて散布するということは知らなかった。(金井弘夫)

第79巻2号 正誤 Errata in Vol. 79 No. 2

頁 (Page)	段 (column)	行 (line)	誤 (For)	正 (Read)
104	left	↓ 21	subsp. <i>acutifoliorum</i>	subsp. <i>acutifoliolum</i>
130	right	↓ 11	subsp. <i>acutifoliorum</i>	subsp. <i>acutifoliolum</i>
130	right	↓ 21	subsp. <i>acutifoliorum</i>	subsp. <i>acutifoliolum</i>
131		Fig. 4	subsp. <i>acutifoliorum</i>	subsp. <i>acutifoliolum</i>